



劇あそび発表会

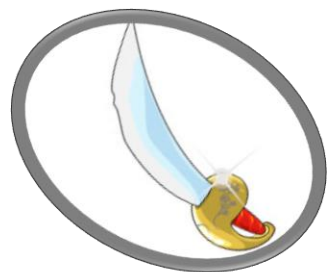
『感動の声』 2020、2、14

NO.1



子供達が自分の役にはりきり、しっかりと演技し、場面ごとに物語を作り上げていく姿は、何度見ても感動します。息子は、演じる役は教えてくれていましたが、セリフだけは当日までの上達し！と教えてくれませんでした。なので当日とても楽しかったです。想像以上に長いセリフをしっかりと演じていて、息子の成長を感じるととても感慨深いものがありました。

先生方と一言一語関係もしっかりと踏まえて、熱心に指導してあげたことに、心より感謝致します。感謝をありがとうございます。



今回は、娘にとっては3回目の、幼稚園最後の劇あそび発表会でした。

今まで年長さんの演じる姿を見せさせておく中で、娘もこの頃に長いセリフを覚えて堂々と語るだろうが、役になりきって演じる事が出来るだろうかととても心配でしたが、ステージの上にはすっかり成長した娘の姿がありました。

園長先生はじめ、いつも熱心に指導下さる先生方には感謝の気持ちがいっぱいです。

娘の表現力をこれまで最大限に引き出して頂き、本当にありがとうございました。

劇あそびの練習が進むにつれ、兄弟の会話やケカにまで劇のセリフが混じり、ほほえましく感じていました。また、2人ともピアノも使いながら1人で劇を通して見せてくれたので(兄が年少の時はハラハラしていました)今回は楽しみにしていました。黄組さんは本当にかわいく自分たちだけで演じている姿に胸がつかまりました。赤組さんはクジラなど大きなものを皆であわせて表現しても迫力があり驚きました。それに加えて青組さんは悲しみや恐怖、不安など難しい心情を身ぶりや声色で表現していて感心しました。発表会を終え、演じること、物語を作ることに興味を覚えたようで、イスとタオル(寝帳のかわり)と人形などを使って2人で自作の劇を見せ合っていました。また子供たちを見てアローをしながらナレーションをしてピアノを弾いている先生方の神業に感動しました。ありがとうございました。



とうとう最後の劇あそび発表会となりました。

幕が上がった瞬間、子供たちのイ本の大きさに、3年で大きく成長したのと感心しました。

これまでの様に、ただセリフを覚え、劇を作り上げるだけでなく、それぞれの役の気持ちを考え表現すること、まわりの友達との関わり方、音楽の合わせ、全てが楽しくなり、娘は家でも何度も練習していました。

この劇を通して、子供達が相手を大切に想うとはどういうことなのか、について考えることが出来たら、今よりも優しい子に成長していくと思います。題材の選択から、子供達への投げかけに、改めてこの幼稚園で学べることに感謝しています。



娘にとって最後の劇あそび発表会が終わりでした。

元気いっぱいの子供達、黄組さんの発表、表現力がすごい。身ぶりやセリフに力がこもっているのがよく伝わってきた。赤組さんには急いで青組の発表で、3年間にわたる子供たちがどんな劇を見せてくれるのか、両親とわーっと拍手して見ることが出来た。(本番で「お楽し」を言って、何か教えてくれたお礼の、準備知識「お楽し」でいい。)「龍の目の王様」は、お役の龍の本物の表現が見事でした。3つは、お役の龍の目や王様の体や動きを思い浮かべ、頭を動かしてつけた子供たちが、龍の体の動きや動きを表現して、本当に体も心も1つに動いて、複雑な動きを表現して、長いセリフも見事に言いつつ、忘れてしまった子供も、助けを呼ぶ子供たちも感動しました。素晴らしい劇でした。おめでとう。お指導頂いた先生方には心より感謝申し上げます。

